

仮面ライダーディケイド エピソード・ザ・ワールド

黄色の人

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

世界の破壊者 クロスオーバーな世界に挑む

乃木若葉は勇者である

目

次

プロローグ

第1話 西暦の世界

6 1

プロローグ

ある世界では滅びに立ち向かう5人の勇者の世界

ある世界では運命と願いが決める物語の世界

ある異なる時代を越え死を乗り越え平和な世界に亀裂が生まれた世界

宇宙から侵略を立ち向かうヒーローと欲望と神の世界

死の星とイタズラに翻弄させ危機に立ち向かう魔法少女の世界

異なる世界から渦巻く生と死と光と闇に挑む剣の世界

そしてそんなから世界を渡る世界の破壊者「通りすがりの仮面ライダー」全てを破壊するか?それとも世界●●●のか?

青い服と刀を持つ少女「キサマは何者だ!!」
鎌を持つ少女「向こうも実体を持つ分身!?」
桜色の服少女「この人強い!!」
白い服の少女「これは危険です!」
盾を持つ少女「コイツらコロコロ姿変わり過ぎだろ!!?」
少女「このカードは!?」

● ● ● ● 勇者の世界

灰色の髪の青年 「これは俺の生きる願いだ」

旗を持つ金髪の女性 「主の名の下 私も戦います!!」

赤銀の鎧を纏う金髪の剣士 「面白い!! こんな奴と戦えていいぜ!!」

桃色の髪の少女? 「バイクの他に乗れる物もあるの?」

白髪の青年 「私の願いにあなたは何を望みますか?」

● ● ● ● の世界

赤い髪のポニーテイルの少女 「え!!? 何コレ!? みんなどうなつてるの!!?」

赤い奴 「俺、 参上!!」

黒髪と青リボンを結い少女 「え! 何このポーズは!?」

青い奴 「お前、 僕と釣られてみる?」

ツインテールの少女 「何よ!! このポーズは!!」

金色の奴 「俺の強さにお前が泣いた!!」

黄色の長い髪にリボンをした少女 「おお!! 激しい動きのダンス!!」

紫の子ども 「お前、 倒すけどいいよね? 答え聞かない!!」

黄色の髪のショートカットの少女 「ええ!! 何ですか!? このポーズと足の開きのポーズは!!」

黄色の髪で背の高い少女 「え! 何そのセリフは!! 何お化け?! 妹が!!

(泣)「

緑色の奴 「最初に言つておく!! 勝手に入つてごめん!!」

「おのれデイケイド～!! て、昔の書記に書いてあつたんよ～」

一同 「何、そのセリフは!!?」

●●●●は●●であると電車の世界

白い左腕を纏う少年 「行くよ!!」

白いヒーロー 「むうん!!」

赤いアーマーを纏うヒーロー 「さあ、パーティーの始まりだ!!」

盾を持つ青いヒーロー 「ヒーローとして当たり前だろ?」

蜘蛛のヒーロー 「僕以上に目立つけど?」

三色とメダルとパンツのヒーロー 「ヒーロー同士助け合いでしょ」

フルーツの武人 「ここからは、ヒーローのステージだ!!」

●●●●一●と●一●一●とメダルとフルーツの世界

白い服の魔法少女 「全力全開で貴方を止めます!!」

黒い服と金髪の少女 「凄い!! 私以上に速く動けるなんて!!」

白と黒の服を纏い帽子を被つた少女「なんや!!この展開は!!?」

指輪の魔法つかい「さあ、ショウタイムだ!!」

赤い髪と青い服を纏う少女「気合いと根性で行きます!!!」

ピンク色の少女「何!?コイツらは!?」

白いトンガリ頭「宇宙〜〜キター〜〜!!!」

魔法と指輪と宇宙の世界

黒い髪の青年「・・・・・」

金色の鎧と金髪の少女「貴方は何者ですか?」

白い鎧と栗色の髪の少女「え! 貴方たちは別の世界から!?」

フードを被つた男「イツツ!! ショウタイム!!!」

天を掻む男「おばあちゃんが言つて言つた」

ハードボイルドの男「さあ! お前の罪を数えろ!!」「

●と●●現実の世界

そして・・・

ある魔王「時間と時空を飛んで応援を呼んで来たよ!!」

ある言葉喋る男「祝え!!全ライダーと時空を越えし戦士たちが集い戦う者たち!!過去と未来そして時空を越え全てを集いし知らしめす大いになる継承させる力!!」

「ただの通りすがりの仮面ライダーだ!!覚えておけ!!!」

第1話 西暦の世界

光写真館室内

士「さて、新たな世界にでも行くするか?」

ユウスケ「で、どんな世界かな?」

さつそく背景のロールを回して世界を見る。背景の絵には虹色に輝く木と5人の少女の姿

夏海「なんですかね?」

士・ユウスケ「さあ?」

とりあえず外に出てみると大きな城が建つ丸亀城の姿があつた

ユウスケ「え!ここ四国!?

夏海「みたいですね」

士「で、この格好は?」

世界に合わせてその役割に合う服になる仕組みになつていた今は神社などにある着物になつていた

ユウスケ「また変わった服の合わせだなあ」

夏海「ですね」

士「・・・」

無言のままポケットの中を探ると1枚のカードが出てきたしかし出てきたのは紋章のカードだけだつた

ユウスケ「アレ、コレだけ?」

夏海「いつものにしては少ないですね?」

士「たぶん、アイツが持っているんじやないか?」

ユウスケ「ああ、海東ね」

夏海「納得です」

士「そのうち出くわすだろ」と一向は丸亀市を見渡す

丸亀城内

若葉「奇妙な信託?」

ひなた「はい、この世界に本来交わりがない者出てきたのです。さらに大社から謎のメッセージが来たのです」

珠子「なんだ? 謎メッセージて?」

ひなた「はい、その内容は『世界を破壊せし者、その名はデイケイド、コイツ倒させなければ世界崩壊してしまう奴を倒せそしておのれデイケイド!!!!』そんな内容でした」

友奈「何!? その内容!」

千景「ていうか、上里さん口調に合わせ過ぎ!!」

ひなた「(?)▽?(;)、すみません ついノリで」

杏「なんだか、ヤバイ電波を受けていますよ!」

若葉「色んな意味で大丈夫か? (汗)」

と思っていたその時スマホの樹海化警報が響く
全員「!!」

その頃、

夏海「アレ?なんだか周りの人が止まっているように見えますけど?」

ユウスケ「あ、本当だ!」

士「どうなつてているんだ? この世界は?」

その時一瞬のうちに風景が変わり虹色の樹海に変わり始ました

士「!?」

ユウスケ「なんじやこりや!!」

夏海「なんですか!?コレは!?」

士「背景の絵と同じ景色に変わりやがった!」

そこから白い異形の化け物が出現した

ユウスケ「なんだ!?あの化け物は!?」

士「知るか!」

夏海「とりあえず変身を!」

士「待て、アレを見ろ」

そこに中学生の5人の姿が現れる

ユウスケ「おい！ヤバイぞ！」

若葉「また相変わらず出て来たな！バー・テックス!!」

と言いながら全員所持しているスマホにあるスイッチを押す、全員服装が変わりそれぞれの武器を持つ

士「アレは、変身か?」

夏海「さあ?」

5人少女は白い異形の事バーテックスに攻撃を始めた

ユウスケ「俺らの出番無しかな?」

士「少し様子を見てみるか」

夏海「アレ？何か凄く走るモノがいます！」

見つけたのは進化体の一体で二足歩行型、しかし5人少女たちもソレに気づきそのうち1人がある物を投げるしかしソレを軽くスルーした5人の少女たちは衝撃のショックを受ける

5人「!?

そんな様子を知らない3人は、

士「何やつている?」

夏海「小さな過ぎてよくわかりませんね?」

ユウスケ「でもちよつとヤバそだから加勢したらいいかもな」

士「ああ、だいたいわかつた」

と言いながらマゼンタ色のバックラーを取り出すそして白いカードケースから1枚のカードを取り出しバックラーに差し込むもう一

人は何もない所から腰にベルトが出現する

夏海「キバーラ！」

キバーラ「はいはーい、ずっと髪の中にいましたよ～」

髪から白いコウモリが現れる

「カメンライド」

「「変身」」

「ディケイド」

そして3人は仮面戦士に変身する

続く